



# ムサシノケヤキ [武蔵野櫟]

落葉／中高木／木本植物／選抜種



**科名** ニレ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：速い

春の芽吹き、夏の緑、秋の黄～紅葉、冬枯れの木立と、四季折々に美しい樹。ケヤキの樹形に比べ、枝が鋭角に直立するため場所を取らない。限られたスペースの庭園樹や街路樹として利用しやすい。埼玉県日高市で発見されたケヤキの選抜種。'むさしの1号'とも呼ばれる。



## Memo

枝が広がらない分、光合成の効率が減る。樹の生理的バランスが保てるように枝を透かしすとよい。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■ (花は目立たない)								
果 実											■ (観賞には向かない)		
紅葉・黄葉												■	
施 肥	(痩せ地でない限り施肥は控える)												
剪 定		■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○			○	○		

### ポイント

枝の分岐角度が20～30度と従来のケヤキに比べ鋭角になる。細身の樹形だが、樹高は大きくなるため、スペースに合わせて芯を止めるとよい。

### 剪 定

樹形が箒（ほうき）状になるため、内部に十分な光が届きにくくなると、樹の負担が増える。鬱蒼（うっそう）としてきたら、枝抜き剪定をして調整するとよい。風通しも改善できる。

### 病虫害

太い幹の剪定や不適切な場所での切除（枝の途中など）により菌が侵入すると腐朽の原因になる。切り口を消毒し、傷口癒合剤を塗布するとよい。